



鉄道で行く千葉



第27回

JR常磐線

J o b a n L i n e



JR常磐線を松戸駅方面に向けて走る快速電車、E531系車両
(北松戸駅～馬橋駅間)



千葉県北西部から首都圏への通勤・通学の足。

JR常磐線は、東京都内の日暮里駅から千葉県北西部、茨城県、福島県を經由して宮城県の岩沼駅まで(列車運行上は上野駅から仙台駅まで)を結ぶJR東日本の鉄道路線。上野駅から取手駅までは東京近郊路線の電車特定区間※となっていて、上野駅～取手駅間では快速線、北千住駅～取手駅間では緩行線(各駅停車)という2系統に分かれた運行をしています。緩行線は、ほとんどの電車が地下鉄千代田線と直結運転されているので「千代田線」と呼ばれることもあります。千葉県内の駅は、松戸駅から天王台駅まで。都内へ通勤通学する人々で混雑する路線の1つで、ラッシュ時が過ぎた昼から夕方までは、緩行線の下りは我孫子駅止まりがほとんどです。また、他路線との関わりも多く松戸駅では新京成線、馬橋駅では流山線、新松戸駅ではJR武蔵野線・流山線、柏駅では東武野田線と接続し、我孫子駅から分岐してJR成田線に乗り入れている快速電車もあります。

※電車特定区間／東京及び大阪付近で、利用者が特に多い区間内の駅を相互発着する場合、区間外より割安な運賃を適用するという規定。

現在活躍中のJR常磐線の車両

◆JR常磐線の歴史

- ◎1889年(明治22年)1月16日
水戸鉄道 水戸駅～小山駅間開業。
- ◎1906年(明治39年)11月1日
日本鉄道国有化。
- ◎1909年(明治42年)10月12日
国有鉄道線路名称制定により「常磐線」に。
- ◎1910年(明治43年)12月29日
松戸駅～馬橋駅間複線化。
- ◎1912年(明治45年)5月10日
北小金駅～我孫子駅間複線化。
- ◎1923年(大正12年)4月15日
我孫子駅～取手駅間複線化。
- ◎1949年(昭和24年)6月1日
松戸駅～取手駅間電化。
- ◎1952年(昭和27年)5月1日 北松戸駅開業。
- ◎1953年(昭和28年)10月1日 南柏駅開業。
- ◎1971年(昭和46年)4月20日
綾瀬駅～我孫子駅間複々線化完成。ほぼ、現在の運転系統が確立する。天王台駅開業。北柏駅旅客営業開始。上野駅～取手駅間の急行線に快速電車を新設。緩行線(各駅停車)は帝都高速度交通営団千代田線(営団地下鉄/現・東京地下鉄)と相互直通運転開始。
- ◎1973年(昭和48年)4月1日 新松戸駅開業。
- ◎1982年(昭和57年)11月15日
我孫子駅～取手駅間複々線化。
- ◎1987年(昭和62年)4月1日
国鉄分割民営化により東日本旅客鉄道に承継。
- ◎2002年(平成14年)3月3日
快速電車でE231系車両運用開始。
- ◎2005年(平成17年)7月9日
E531系車両導入開始。



(普通) 209系1000番台

1999年(平成11年)12月4日のダイヤ改正から営業開始した車両で、車体の帯の色は営業開始当初からのエメラルドグリーンに塗られています。



(普通) E233系2000番台

乗り入れ先の東京地下鉄(東京メトロ)千代田線向けの車両で、203系と207系900番台の置き換え用として、2009年(平成21年)9月から導入されました。



(快速) E531系

2005年(平成17年)7月から導入された中距離列車で、2007年3月のダイヤ改正よりグリーン車の営業も開始しました。10両または15両編成で運用されています。

東京メトロ千代田線から乗り入れている車両



(快速) E231系

2002年(平成14年)3月3日に営業運転を開始した快速専用車両で、取手駅まで運行しています。一部の車両は、我孫子駅からJR成田線の我孫子支線に乗り入れています。



(普通) 6000系

1971年(昭和46年)から乗り入れを開始した車両で、当時の最新技術を積極的に採用し、「耐用年数40年以上、新技術の導入、保守の容易化、車両の軽量化」を設計の基本としています。



(普通) 16000系

東京地下鉄(東京メトロ)千代田線の通勤形車両で、6000系の機器の老朽化などによる代替を目的として、2010年(平成22年)11月4日から営業運転を開始しました。2011年鉄道友の会ローレル賞選定車両。

JR常磐線を松戸駅方面に向けて走るE233系2000番台普通車両(北柏駅～我孫子駅間)

JR常磐線に乗って。

朝10時を過ぎても多くの乗降客でにぎわう松戸駅から緩行線(各駅停車)に乗車。千葉県内の常磐線と道路が交差する地点は全て立体化されて踏切がなく、新松戸駅までは平地を、北小金駅から柏市内は下総台地の中を走ります。沿線は、2000年以降もマンション建築や宅地造成が続く人口増加地域です。我孫子駅終点の電車だったので下車して手賀沼を散策。その後、再び我孫子駅から快速で取手方面をめざし利根川を越えました。



松戸駅を出てしばらく走ると、工場が点在する地域を通過します。左車窓にひととき大きな敷地を有したヤマザキ製パン松戸工場があります。



車窓からの風景

スペシャルビューポイント



河川敷のゴルフ練習場！

天王台駅を過ぎ、利根川を渡る手前の左車窓に河川敷を利用した「東我孫子カントリークラブ」の練習場が見えました。障害物のない広大な芝生と利根川を臨むロケーションが、なんとも気持ち良さそうな風景でした。



北松戸駅から北小金駅周辺は、マンションや戸建て住宅が密集する地域。マンション群を眺めながら通り抜けていきます。



馬橋駅に停車中、ふと左側を見るとカラフルな車両が目に入りました。流鉄流山線の馬橋駅ホームが隣合わせにあります。



北小金駅を過ぎ、住宅地の間に傾斜地に広がる段々畑が見えました。小さな小川も流れていて、住宅地のオアシスのようです。



南柏駅を発車して間もなく、左車窓に、イオンモール柏の大型立体駐車場が見えてきました。



もうすぐ北柏駅に到着するというアナウンスが流れる頃、手賀沼の支流の川を渡りました。澄んだ青空が水面に映っていました。



2面4線の地上駅である柏駅に到着しました。JR常磐線と東武野田線が乗り入れている接続駅です。停車中の右車窓から東口前の「そごう柏店」や「SKY PLAZA」の建物が見えました。



我孫子駅と天王台駅のほぼ中間地点に車両基地があるのが見えました。何両もの車両が停車する「松戸車両センター 我孫子派出所」です。

●JR常磐線で発見したお土産&お手軽グルメ！

松戸駅

きくや

(松戸駅改札から徒歩1分)



●たい焼き 1個 ¥150(税込)

朝10時30分の開店からすぐに行列ができる人気店。昭和44年の創業以来、甘さ控えめの餡(あん)がたっぷり入ったたい焼きが口コミで話題になり、常連さんが遠方から買いに来る店として知られています。

我孫子駅

西周うなぎ店

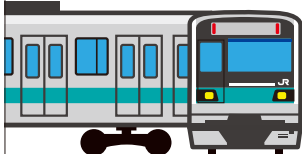
(我孫子駅改札から徒歩8分)



●うなぎ(松) ¥1,995(税込)

安政3年の創業といえは155年もの歴史がある老舗店。外側はパリッと焼けていて香ばしく、中はふんわり柔らかい。甘めのタレがご飯にからんで味わいも格別です。肝吸いとお新香も逸品です。

JR常磐線で行く、お楽しみスポット! 家族で出かけよう。



**沿線を
そぞろ歩む**

東京都内へ通勤する、いわゆる「千葉都民」が多く住む常磐線沿線。各駅停車で下りると、地域の歴史や自然に根ざした見どころが点在しています。

とじょうてい とじょう

戸 定 邸 (戸定が丘歴史公園)

明治17年に建築された戸定邸は、幕府最後の将軍徳川慶喜の弟、昭武が後半生を過ごした住まいです。明治前期の上流住宅の様式を今に伝える建物として国の重要文化財に、さらに芝生を敷き、洋風を取り入れた美しい庭園は千葉県の名勝に指定されています。平成3年に周囲の敷地2.3ヘクタールが整備され「戸定が丘歴史公園」として一般公開されるようになりました。明治時代の徳川家の住まいで見学できるのは全国でもここだけというだけに、遠方から訪れる人々も多い施設。隣接する戸定歴史館には、昭武が趣味で撮影した当時の写真やゆかりの品々が展示されています。また、公園には四季折々に変化する自然や花々が目を楽しませてくれます。とりわけ梅や藤、紅葉などが美しく「日本の歴史公園100選」にも選ばれています。



▲ 戸定邸と庭園



▲ 歴史館展示室内



▲ 当時のスイス全権公使アンペールから徳川昭武に贈られた懐中時計

- 開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※戸定が丘歴史公園は9時から
- 休館日／毎週月曜日(※ただし、月曜日が祝日の場合は翌日が休館日)
年末年始(12月28日から1月4日)
- 入館料／戸定邸・歴史館共通：一般240円、高校・大学生160円
個別入館：一般150円、高校・大学生100円
- 交 通／「松戸駅」下車、東口から徒歩10分
- 駐車場／あり(無料)普通車19台・大型バス2台(大型のみ要予約)
- 問い合わせ／047-362-2050
- 住 所／〒271-0092 松戸市松戸714-1
- 公式サイト(<http://www.city.matsudo.chiba.jp/tojo/>)

手 賀 沼 公 園

手賀沼公園は、我孫子のシンボルでもある手賀沼の北部に位置し、広場や水と親しめるふれあい岸辺などで構成された自然豊かな公園。大正時代には、武者小路実篤や志賀直哉など白樺派の文豪たちが多く住んでいたというだけに、どこか洗練された雰囲気が漂う歴史あるエリアでもあります。公園の突端には周囲を一望できる公園岬があり、ベンチやあずまやに憩いながら手賀沼の景観を楽しむことができます。岸辺の一部は親水護岸になっていて、沼の水に直接触れたり水鳥や魚を間近に眺められるのも子供連れには嬉しい設計です。また子ども広場には木製のコンビネーション遊具と大きな砂場があり、3月の春休みから11月までの土・日・祝日と夏休み期間中にはミニSLの運行とレンタサイクルの貸し出しが行われています。



▲ 手賀沼が一望できる公園岬



▲ 散策道



▲ 子ども広場のミニSL

- 開園時間／通年
- 料 金／無料(ミニSLとレンタサイクルは有料)
- 交 通／「我孫子駅」下車、南口から徒歩10分
- 駐車場／あり 50台(無料)
最初の1時間は無料 1時間ごとに100円
利用時間：午前8時30分～午後9時30分
- 問い合わせ／我孫子市役所 都市部公園緑地課
04-7185-1542
※ミニSLとレンタサイクルの問い合わせは 04-7183-1130
〔(財)我孫子市あゆみの郷・都市建設公社〕
- 住 所／〒270-1147 我孫子市若松1
- 公式サイト(<http://www.city.abiko.chiba.jp>)

駅前発見! 探してみよう!

我孫子駅ロータリーにある ミニSLの記念碑!

手入れが行き届いた花壇に季節の草花が揺れる我孫子駅のロータリー。出口左側に小さなSLをかたどった記念碑がありました。明治27年に常磐線開通計画案が出ると同時に、当時の我孫子町長の飯泉喜雄氏が私財を投じて誘致を行い、明治29年我孫子駅が開業しました。我孫子発展の礎となった功績を讃え、市民の手でこの碑が建てられました。



調べてみよう! 常磐線クイズ?

常磐線行線(各駅停車)が直通
乗り入れている路線は?

1. 地下鉄千代田線
2. 地下鉄東西線
3. 地下鉄丸の内線

※正解は次号紙面で!

※前回のクイズの正解。成田スカイ
アクセス線の正式名称はなに?
「3」京成成田空港線でした。

写真提供・撮影協力／(有)きくや 西周うなぎ店 松戸市教育委員会 生涯学習本部 戸定歴史館 我孫子市役所都市部公園緑地課

2011.12(次回発行)／2012年1月23日